

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	印南川	(7) 施策目標	7.河川における洪水被害等からの人命・財産の保全
(2) 施工場所	印南町印南、山口	(8) 事業の狙い	事業区間は、現況流下能力が著しく低く、浸水被害が発生していることから、河川改修を実施し被害の軽減を図る。
(3) 事業名	広域河川整備事業		
(4) 担当部課	県土整備部 河川課	(9) ために用いた主な指標(※1)	[指標名] 想定氾濫区域内資産額 [指標値、現象] 432億円
(5) 総事業費	3,785 百万円		
(6) 事業期間	R5～R26(予定)		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 河道掘削、護岸の整備 [他の事業内容] 河道拡幅、堤防の整備、橋梁の架け替え、堰の改築	[主な事業内容] [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート	印南町印南、山口	
	③ 主要な事業内容の規模	改修延長 L=約1,400m	
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 治水安全度 [効果の大きさ]	[指標名] [効果の大きさ]
	② 効果発現のポイント	河道掘削等により流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図る。	
(3) 副次効果	① 主な副次効果	-	
	② 効果発現のポイント	-	
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	印南川水系河川整備計画において、河川改修による河川整備を位置付けている。
		主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 大きな被害をもたらした近年の洪水規模での整備水準であり、県内他河川とのバランスからも妥当。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 事業内容の組み合わせ	
		<input type="checkbox"/> 主要な事業内容の位置・ルート	
<input type="checkbox"/> 主な事業内容の規模		(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)	

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	3,501,990 千円
		<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
			・ 総便益(現在価値)	3,482,700 千円
			・ 残存価値	19,290 千円
			・	千円
	② 費用		[現在価値合計]	2,778,500 千円
	③ 分析結果		[費用便益比]	1.26 [純現在価値] 723,490 千円
	④ 分析結果に関する特記事項			
	⑤ 参考資料名		印南川水系河川整備計画(参考資料)	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり		(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 河川法第10条第1項により、県事業となっている。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	事業に対する印南町、地元区長の協力体制が整っている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
評価結果	<input type="checkbox"/> 再検討	
	<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該箇所は、流下能力が不十分な箇所があり、過去から幾度となく洪水被害に見舞われている。また、地元の河川改修要望も非常に強いことから、総合的にみて妥当と判断。	

様式1:個別事業妥当性評価(個票)

1.事業の概要

(1) 地区・箇所・路線名	周参見川	(7) 施策目標	7.河川における洪水被害等からの人命・財産の保全
(2) 施工場所	すさみ町周参見	(8) 事業の狙い	事業区間は、現況流下能力が著しく低く、浸水被害が発生していることから、河川改修を実施し被害の軽減を図る。
(3) 事業名	広域河川整備事業		
(4) 担当部課	県土整備部 河川課	(9) ために用いた主な指標(※1)	[指標名] 想定氾濫区域内資産額 [指標値、現象] 1421億
(5) 総事業費	2,072 百万円		
(6) 事業期間	R5～R26(予定)		

2.事業内容の妥当性

		代替案との比較	
		当該事業案	主な代替案
(1) 事業内容	① 事業内容の組み合わせ	[主な事業内容] 河道掘削、堤防の整備 [他の事業内容] 橋梁の架け替え、堰の改築、堤防強化	[主な事業内容] [他の事業内容]
	② 主要な事業内容の位置・ルート	すさみ町周参見	
	③ 主要な事業内容の規模	改修延長 L=約2,100m	
(2) 施策目標への貢献度	① 貢献度指標への効果	[指標名] 治水安全度 [効果の大きさ]	[指標名] [効果の大きさ]
	② 効果発現のポイント	河道掘削等により流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図る。	
(3) 副次効果	① 主な副次効果	-	
	② 効果発現のポイント	-	
事業内容の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	検討事項の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 代替案なし	代替案と比較検討していない理由	周参見川水系河川整備計画において、河川改修による河川整備を位置付けている。
		主な事業内容の規模の妥当性	(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明) 大きな被害をもたらした近年の洪水規模での整備水準であり、県内他河川とのバランスからも妥当。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 事業内容の組み合わせ	
		<input type="checkbox"/> 主な事業内容の位置・ルート	
<input type="checkbox"/> 主な事業内容の規模		(特に、事業の必要性を検討するために用いた主な指標(※1)との関係から説明)	

3.経済効率面の妥当性

(1) 費用便益分析	① 便益	<input checked="" type="checkbox"/> 分析対象	[現在価値合計]	3,715,300 千円
		<input type="checkbox"/> 分析対象外	[主な内訳]	
		・ 総便益(現在価値)	3,701,900 千円	
		・ 残存価値	13,400 千円	
		・	千円	
	② 費用		[現在価値合計]	1,523,500 千円
	③ 分析結果		[費用便益比] 2.44	[純現在価値] 2,191,800 千円
	④ 分析結果に関する特記事項			
	⑤ 参考資料名		周参見川水系河川整備計画(参考資料)	
経済効率面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり		(検討事項ありの場合、その内容を記入)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

4. 環境的側面の妥当性

		生活環境への影響	生態系への影響	その他環境への影響
(1) 環境への影響	<input type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業である	(環境影響評価の対象事業、又は対象事業でなくても影響のある場合は、懸念される影響を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境影響評価の対象事業でない	<input type="checkbox"/> 影響事項あり	<input checked="" type="checkbox"/> 影響事項なし	
(2) 対処方法	① 工法・施工方法等による配慮	(上記影響への工法・施工方法による工夫を記入)		
	② その他の方法による配慮	(上記影響へのその他の方法による工夫を記入)		
環境的側面の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当			

5. 県が実施することの妥当性

		県が実施する理由
(1) 事業形態	<input type="checkbox"/> 他の事業主体との共同事業	(他の事業主体との共同事業の場合、県の役割を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 県のみが実施主体の事業	
(2) 県の実施することの理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等で定められている	(法令名と法令の趣旨を記入) 河川法第10条第1項により、県事業となっている。
	<input type="checkbox"/> 効果の及ぶ地理的範囲からみて県が実施するのが妥当	(効果の内容及ぶ当該効果の概ねの地理的範囲を記入)
	<input type="checkbox"/> その他	(上記以外の理由を記入)
県が実施することの妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	(検討事項ありの場合、その内容を記入)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

6. 計画の熟度

(1) 地元協力	<input checked="" type="checkbox"/> 協力あり	(地元協力の内容等を記入)
	<input type="checkbox"/> 協力なし	事業に対するすさみ町、地元区長の協力体制が整っている。
(2) 事業調整の状況	<input type="checkbox"/> 事業調整の必要あり	(事業調整の状況を記入(自然公園、文化財、公園、他部門の法令等に係る調整))
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業調整の必要なし	
熟度の妥当性	<input type="checkbox"/> 検討事項あり	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	

7. 実施妥当性の総合評価

評価結果	判定	検討事項又は条件
	<input type="checkbox"/> 再検討	
	<input type="checkbox"/> 妥当(条件付き)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	
総合所見	当該箇所は、流下能力が不十分な箇所があり、過去から幾度となく洪水被害に見舞われている。また、地元の河川改修要望も非常に強いことから、総合的にみて妥当と判断。	